

# 「カリキュラム環境」

## 題材とする主な教育課題

- 環境教育
- 持続可能な開発のための教育(ESD)
- 森林環境教育 ● 海洋教育
- 再生可能エネルギー教育 等

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
学年							
小学校	3	<p>〈夏の過ごし方を通して環境問題を考える〉 ● 環境教育 ● 再生可能エネルギー教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD) ● ICT教育 ● メディアリテラシー教育</p> <p>【必修】○国語「説明や報告の発表」(2) ○理科「生物とその周辺の環境との関係」「成長の過程や体のつくり」「風の働き」「光の性質」(30) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「緑のカーテンを作ろう」(24)</p>					
	4						
	5	<p>〈自然の恵みに感謝する〉 ● 環境教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD) ● 森林環境教育 ● ICT教育</p> <p>【必修】○社会「水産資源の保護・育成」「食料生産と国民の食生活」「森林の役割」他(13) ○家庭「身近な環境とのかかわり」「物の使い方の工夫」(8) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「米作りからのおくり物」(29)</p>					
	6						
中学校	1	<p>〈自然や風土が育む食文化〉 ● 食育 ● 環境教育 ● メディアリテラシー教育</p> <p>【必修】○国語「目的に応じた情報選択」(4) ○社会「環境保全に対する意識や政策」(1) ○技術・家庭「日常食の調理と地域の食文化」他(9) ○道徳「自然愛護」(1) ○特活「望ましい食習慣の形成」(1)</p> <p>【選択】★総合「移動教室で訪れる地域の食文化を学ぶ」(14)</p>					
	2	<p>〈自然環境の大切さを学ぶ〉 ● 環境教育 ● 森林環境教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「地域における環境保全の取組」「日本の林業の特色と課題」(3) ○理科「電磁誘導と発電」(3) ○技術・家庭「生物育成に関する技術の適切な評価と活用」「環境に配慮した消費生活の工夫」他(7) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「学校ビオトープを作ろう」(24)</p>					
	3	<p>〈環境問題に目を向けて〉 ● 環境教育 ● 森林環境教育 ● 持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「地球環境の課題の解決のための経済的、技術的協力」(1) ○理科「生物と環境」「自然環境の調査と環境保全」(12) ○技術・家庭「社会や環境に果たしている役割と影響」(1) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「身近な環境について調査研究をしよう」(16)</p>					

## 「カリキュラム環境」のねらい

- 環境保全に対する関心・意欲・態度を育成する。 ○持続可能な社会を築くために必要な知識・理解を深める。
- 自然環境を育み、これを維持管理することの重要性に関わる知識・理解を深める。
- 環境に働き掛ける実践力を育成する。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p><b>〈地球にやさしく〉</b> ●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●再生可能エネルギー教育●森林環境教育</p> <p>【必修】○社会「ごみ処理やリサイクル」「ごみを減らす取組」他(11) ○理科「光電池の働き」(3) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「ごみの減量化プロジェクトをしよう」(14)</p>					
<p><b>〈自然とくらしを見つめる〉</b> ●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)●森林環境教育●ICT教育</p> <p>【必修】○理科「生き物のくらしと環境」「人のくらしと環境」「生物と周囲の環境とのかかわり」(22) ○社会「環境問題」(1) ○家庭「自分の生活と身近な環境とのかかわり」(6) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「自然の宝庫、私たちの多摩川」(20)</p>					
<p><b>〈資源を大切に〉</b> ●再生可能エネルギー教育●環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「環境保全に対する意識や政策」(1) ○理科「生物と環境とのかかわり」(1) ○技術・家庭「技術の進展と環境との関係」(2) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「減らそう、学校の「もったいない」」(14)</p>					
<p><b>〈環境に配慮した暮らし〉</b> ●環境教育●森林環境教育●持続可能な開発のための教育(ESD)</p> <p>【必修】○社会「よりよい社会を目指して」(6) ○理科「エネルギー資源」「自然環境の保全と科学技術の利用」(6) ○道徳「自然愛護」(1)</p> <p>【選択】★総合「地球のことを考えた私たちの生活」(19)</p>					

※それぞれの教育課題は、現在も各教科等の学習内容を通して指導しており、その内訳を上段の【必修】の枠に示した。  
【選択】の枠には、各学校が特色ある教育活動として、総合的な学習の時間に位置付けて指導できるように、単元の指導計画例(★)を示した。なお、本カリキュラムモデルでは、複数の教育課題と教科等の指導を相互に関連付けて、効果的な指導が行えるよう、それらをつなぐための〈主題〉を設けた。